

教科	美術	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎ガイダンス ○アートカードゲーム	1	・美術の分野や一年間の流れについて理解ができる。 ・いろ、かたちなど、造形的な視点について考えることができる。	・2枚のカードからいろ、かたちなどの共通点を見つけ出し、造形的な視点について理解することができる。	・作品にあるいろやかたちを鑑賞して、造形的な良さや美しさを感じ取ろうとしているか。	・様々な美術作品を鑑賞して、美術の世界に興味をもつことができる。
◎絵画分野 ○ものを見つめる (ドローイング、スケッチ)	4	・対象をよく観察して、線や明暗の表現で、造形的な特徴を基に、身近な素材を愛着をもって描くことができているか。	・鉛筆の濃淡、線の特徴、明暗の変化の作り方などスケッチの方法を理解する。(スケッチ) ・線の性質や陰影のあるなしにも表現の特徴がでることに気づく。(スケッチ) ・時間をかけたもの、時間が短いものを見比べたり実際に描くことで変化を感じ取ることができる。	・鉛筆以外の素材によるデッサンと比較することで、鉛筆の特徴を理解する。 ・対象物観察した際に感じ取れるやわらかさ、硬さ。暖かさや冷たさ、また重さなどを表現するためにはどんな素材を選ぶのが良いか考えることができているか。	・身近な題材を選んでほかにも、画面に取り入れれたり、その取り合わせにより意欲的な学習に取り組もうとしているか。 ・参考作品の鑑賞に取り組む際、対象の形を描いている他に内面の意図が動いている様子があるか
◎基礎知識 ○色について	7	・色の理解を深めるために、三原色で色相環を作り、明度や彩度の変化に気づく。 ・絵具を使う上での基本的な知識を整理して日常での色についても意識することができる。	・色と色の関係にも注意して、色を組み合わせた効果について考えることができる。 ・色が感情にもたらす効果など表現に直接影響することが理解できる。 ・美しい色の条件があることに気づくことができる。	・対比や軽重など効果的な色の表現ができるようになる。 ・色の選択によるパリエーションを増やし、自分がしたい表現に沿って判断ができる。 ・色の効果を意欲的に観察し、鑑賞の際の判断の幅を広げることができる。	・同じ色が周りとの関係でちがって見え、素材によっても多彩に変化することに関心が向く。 ・水の分量や絵具の分量の些細な違いにより変化があることを発見し、意欲的に活動をしているか。
◎デザイン分野 ○文字デザイン ○環境ポスター (夏課題)	16	・用具の特性を生かして、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う表現方法を工夫して制作できるようにする。 ・レタリングを変形し、イラストレーションと組み合わせる誰かに伝える、伝わるデザインを制作できるようにする。	・明朝体やゴシック体の特徴を理解し、形を変形しすぎずに文字の意味に合わせたフォントづくりを意識できる。 ・絵文字制作の際に文字の意味から連想できるイラストレーションを組み合わせることを意識できる。 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解できる。	・レタリングの特徴や文字の意味から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを思考している。 ・身近な広告物にある文字の形や色彩などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができるようにする。	・表現方法を工夫しながら取り組んでいるか。 ・レタリングの学習を通して、文字表現ものの面白さについて主体的に感じ取ろうとしているか。 ・ポスターや出版物など様々な目的を持ったデザインに関心を持つようとしているか。
◎鑑賞 ○日本美術について 屏風	3	・屏風の奥行きや立体感について意見を交わし、作者が意図している余白の美を感じ取ったり、考えることができる。	・色や形に注目し、風神雷神図屏風の位置や、背景の箔について絵に対する効果につながっていることについて理解ができる。	・作者が意図している余白の美を感じ取ったり、考えることができる。 ・日本に古くからある美術文化の良さや美しさを感じ取ろうとしているか。	・自分も持っている意見を他者と話し合い、様々な考え方や見方をしようとしているか。 ・美術文化に興味をもち、主体的に学ぼうとしているか。
◎デザイン分野 ○アニメーション	4	・動きを工夫しながらアニメーションをとることができる。	・「集合」「回転」など、動きを工夫できるワードを使用して動きに変化をつけることで工夫されたアニメーションづくりができることを理解できる。	・動かないものが動く面白さや良さを感じとることができる。	・「動き」を追求して工夫したアニメーションづくりを行おうとしているか。
◎デザイン分野、工芸分野 ○りらっくいすをつくろう！	13	・相手の目線に立って座る人をリラックスさせる椅子を考えることができる。	・鑑賞の際に椅子の構造を知り、どのような目的を持った椅子なのか椅子同士を比べながら理解できる。 ・実際に座れる椅子(構造的に)を制作することができる。	・「どこに」「誰が」座る椅子なのか、どんな風リラックスさせる椅子なのかなど、豊かに発想し、構想を考えることができる。	・どんな目的が込められた椅子なのか日々使っている椅子に関心を持つことができているか。

教科	美術	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎ガイダンス ○アートカードゲーム	1	・美術の分野や一年間の流れについて理解ができる。 ・いろ、かたちなど、造形的な視点について考えることができる。	・2枚のカードからいろ、かたちなどの共通点を見つけ出し、造形的な視点について理解することができる。	・作品にあるいろやかたちを鑑賞して、造形的な良さや美しさを感じ取ろうとしているか。	・様々な美術作品を鑑賞して、美術の世界に興味をもつことができる。
◎絵や彫刻など ○あの日あの時あの気持ち(モダンテクニック)	8	・偶然生まれる形や色彩の組み合わせから自分の気持ちや情景をイメージする。	・色彩や形が作品に影響を及ぼすことを理解できる。 ・モダンテクニックの技法をそれぞれ理解できる	・技法がそれぞれある中で題材、主題に合わせたものを選択することができる。	・自分に合った表現をするために技法を積極的に見つけようとしているか。 ・技法を組み合わせて構成したり、かけ合わせたりなど工夫しようとしているか
◎工芸分野 ○オリジナルのハンコを作ってみよう(てん刻)	11	・使用する場面や目的を考えながら制作する。	・陽刻、陰刻の違い、ハンコの仕組みを理解できる。 ・印刀の正しい扱いを学習し、安全に制作することができる。	・抽象的なものや具象的なものなど自分が興味をもって創造的な形を作成することができる。	・ハンコの歴史や利便性を積極的に知ろうとしているか。
◎鑑賞 ○暮らしやすさのデザイン	2	・歯磨き粉やベビー用品を鑑賞して、生活の中の美術の働きかけについて考えることができる。	・デザイナーが考えたベビー用品の食器を鑑賞し、普段使用しているスプーンやフォークとどのような点が異なるのか造形的な視点で捉えて考える	・生活の中の「暮らしやすさ」について機能性や目的を考え、鑑賞活動を通して見方や感じ方を広げることができる	・歯磨き粉やベビー用品を鑑賞して、生活の中の美術の働きかけについて考えたり、クラスメイトと意見を交わして、考えを深めようとしているか。
◎絵画分野 ○風景画	10	・身近な風景を見つめ、感じ取ったことや、考えたことをもとに、心豊かな表現をする	・遠近法(投影図法と透視図法)を使って風景を制作することができる	・写真のような色(写実的な色味)であったり、自分が思う色を選択してみたりなど枠に囚われない自分だけの色で表現することができる。	・普段自分が目にしてる風景を自分なりの色や形で表現し、感性を豊かにしようとしているか。
◎デザイン分野 ○ピクトグラム	3	・自分の住む地域の人や、町に訪れる多様な人が施設や場所などの情報を分かりやすく伝えるデザインを考えることができる。	・形などが感情にもたらす効果を意識しながら全体に注目して造形的な特徴からイメージを捉えることができる。	・伝える場所や施設のイメージから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和をとることができる。	・生徒が自分の地域のことに関して、主体的に調べたり、イメージを広げようとしているか。

教科	美術	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎ガイダンス ○アートカードゲーム	1	・美術の分野や一年間の流れについて理解ができる。 ・いろ、かたちなど、造形的な視点について考えることができる。	・2枚のカードからいろ、かたちなどの共通点を見つけ出し、造形的な視点について理解することができる。	・作品にあるいろやかたちを鑑賞して、造形的な良さや美しさを感じ取ろうとしているか。	・様々な美術作品を鑑賞して、美術の世界に興味をもつことができる。
◎絵画分野 ○水墨画	4	・墨の常識を崩し、墨と水のみで表現するシンプルかつ奥深い世界を知り自由に独創的な水墨画を描くことができる。	・水の加減から生まれる濃淡やにじみ、ぼかしなどによる奥行、質感など筆づかいについて理解できる。	・表したいもののイメージに沿って濃淡や線などの効果を考え、構想を練ったり、単色で表現できる良さを発見できる。	・墨の表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができているか。
◎デザイン分野 ○パッケージデザイン	9	・購入するターゲットに向けて商品のアイデアを色や形などの造形的な視点で考えることができる。	商品伝える相手や内容から主題を生み出し、見通しをもって表現することができる。	・レタリングの特徴や文字の意味から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを思考している。 ・身近な広告物にある文字の形や色彩などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を	・生活に関わるパッケージを考えることで、生活を豊かにすることについて積極的に考えようとしているか。
◎鑑賞 ○目指せ！仏像マニア	3	・修学旅行に向けて、仏像に関する造形的な特徴(形や色、様式)を学び、仏像のよさや美しさを感じ取る。	・如来、菩薩、明王、天部といった、階段による造形的な特徴を捉えることができる。	・髪型、表情、装飾品、ポーズから造形的な特徴を感じ取り、形や曲線などの美しさを感じ取ることができる。	・日本文化の中での寺や仏像の重要性を感じるができる。文化財の保存についても関心をもっているか。
◎絵画分野 ○スクラッチボード～卒業記念制作	15	・ニードルのタッチで線の表情が変わることなど技法の特徴を知ることができる。	・木材の温もりを生かし、彩色や彫刻、ニス塗装などを正しい順序で制作を進めることができる。 ・写真や図版から、トレーシングペーパーを使って制作できる。	・線の表現や、明暗で細かな変化を実現することを理解できる。 ・線や面、点などで微妙な変化ができることに気づく。 ・形から発想したり、意味のある組み合わせを工夫したり、自由なアイデアを大切にすることができる。	・主体的に表現の幅を広げ、自由なアイデアを広げていこうとしているか。